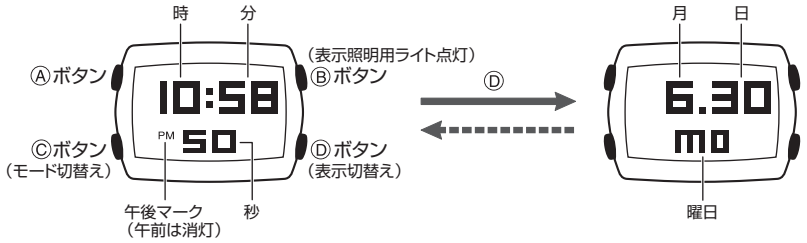
Operation Guide 3097

CASIO

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
※アラームモードのまま２～３分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードになります。

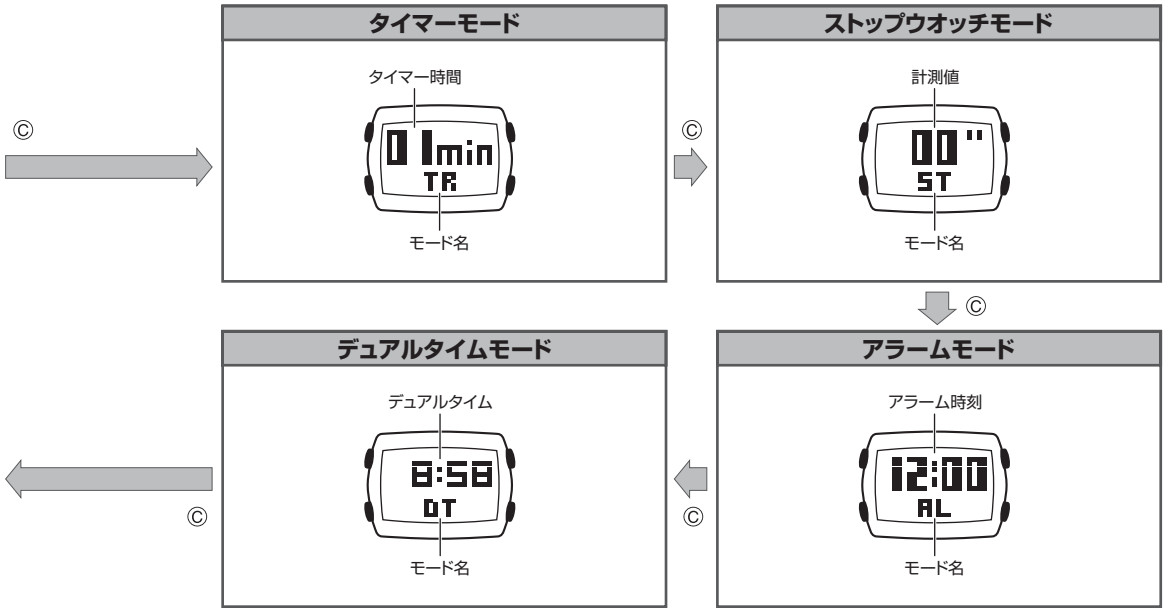
時刻モード



★「月・日・曜日」の確認
Ⓓボタンを押すと、「時・分・秒」が「月・日・曜日」に切り替わった後、約１秒で「時・分・秒」に戻ります。

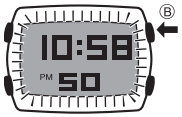
★曜日の見方
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水　TH：木　FR：金　SA：土

※表示に関するその他の説明は、「液晶表示について」、「デモ表示について」、「本機の視覚的な演出について」をご覧ください。



表示照明用ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑボタンを押すと、表示照明用ライトが点灯します（約１.５秒間）。
※表示照明用ライトが消灯した後、LEDライトが点滅します（右の「LEDライトについて」参照）。



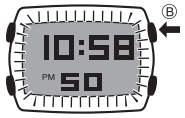
■ご注意■
- ●直射日光下では、表示照明用ライト点灯が見えにくくなります。
- ●表示照明用ライト点灯中にⒷボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどの電子音が鳴ると、点灯を中断します。
- ●ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

LEDライトについて

本機には、表示照明用ライトの他に赤色と黄色のLEDライトがついています。
このLEDライトは、アラームやタイマーのタイムアップ音に連動して点滅したり、表示照明用ライト点灯後に点滅するなど、視覚的な演出を行ないます。
なお、この点滅による演出は、「行なう／行なわない」の切替えはできません。

■LEDライトを試しに点滅させる

時刻モードでⒷボタンを３秒間押し続けます。表示照明用ライトが点灯後にLEDライトが１０秒間点滅します。点滅のパターンは２種類あります。



操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音のON／OFFを切り替えることができます。

■操作音のON／OFF設定

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

Ⓒボタンを約3秒間押し続けます

➡確認音が鳴り、操作音のON／OFFが切り替わります。
※操作音をOFFにしているときは、MUTEマークが点灯します。
※操作音がOFFでも、アラーム音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。
※この操作を行なうと、モードが切り替わってしまいます。操作終了後に、Ⓒボタンを押して使用するモードに切り替えてください。



液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。
なお、記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、記載しているイラストの黒い部分（「時刻」、「機能がONになっているときに点灯するインジケーターやマーク」など）が、「白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。
※液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、１つの製品でタイプを切り替えることはできません。

<Aタイプ>



<Bタイプ>



本機の「視覚的な演出」について

本機では、表示パターンを変えたり、表示照明用ライトやLEDライトを点滅させるなどの視覚的な演出を行なうことができます。色々な演出を、お楽しみください。
なお、本機の演出には、ご使用になる方が「お好みに応じて選べるもの」と「選べないもの」があります。ご注意ください。

■時刻モードの「表示パターン」

本機の時刻モードには、下記の５つの表示パターンがあり、その中から用途にあわせて選ぶことができます。
また、「本機を身に着けている間に、表示パターンが自動的に切り替わる」ように設定することもできます。
なお、この設定になっているときだけに表示される「特別な表示パターン」があります。
「特別な表示パターン」になる条件は？？？…お楽しみに。

<パターン1>



<パターン2>



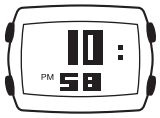
<パターン3>



<パターン4>



<パターン5>



●表示パターンを自分で選ぶ

1. 時刻モードにする

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい©ボタンを押し、時刻モードにします



2. 「ACT」の設定を確認する

表示パターンを自分で選ぶときは、「ACT」の設定を「OF（OFF）」にします。
「ACT」の設定が「OF（OFF）」になっているときは、ACTONマークが消灯しています。



ACT ONマーク

➡ACT ONマークが点灯しているときは、手順３に進んでください。
➡ACT ONマークが消灯しているときは、手順６に進んでください。

3. セット状態にする

Ⓐボタンを約１秒間押し続けます



➡秒が点滅します。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

4. 「ACT」の設定を「OF（OFF）」にする

Ⓒボタンを７回押します



Ⓓボタンを押して、「OF」を選びます



➡Ⓓボタンを押すごとにon（ON）とOF（OFF）が切り替わります。

5. セット状態を解除する

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まります。

6. 表示パターンを選ぶ

Ⓐボタンを押します



➡Ⓐボタンを押すごとに表示パターンが切り替わります。

●表示パターンが自動的に切り替わるように設定する

1. 時刻モードにする

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい©ボタンを押し、時刻モードにします



2. 「ACT」の設定を確認する

表示パターンが自動的に切り替わるように設定するときは、「ACT」の設定を「on（ON）」にします。
「ACT」の設定が「on（ON）」になっているときは、ACTONマークが点灯しています。

<「ACT」の設定が「on（ON）」のときの表示>

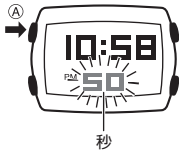


ACT ONマーク

➡ACT ONマークが点灯しているときは、操作の必要はありません。
➡ACT ONマークが消灯しているときは、手順３に進んでください。

3. セット状態にする

Ⓐボタンを約１秒間押し続けます



➡秒が点滅します。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

4. 「ACT」の設定を「on（ON）」にする

Ⓒボタンを７回押します



Ⓓボタンを押して、「on」を選びます



➡Ⓓボタンを押すごとにon（ON）とOF（OFF）が切り替わります。

5. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

■アニメーション

「モードを切り替えたとき」や「時刻表示中」などに、アニメーションが表示されます。
なお、このアニメーションは、「表示させる／表示させない」の切替えはできません。

■その他

「時刻を見ようと時計を傾けたとき」に、表示が変化したり、表示照明用ライトやLEDライトが点滅することがあります。
なお、この演出は、「行なう／行なわない」の切替えはできません。

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。
デモ表示では自動的に表示内容が切り替わります。
※デモ表示中は、「表示照明用ライトの点灯」と「LEDライトを試しに点滅させる」ことだけが行なえます。



●デモ表示の解除

Ⓐ、Ⓒ、Ⓓのうち、どれか1つのボタンを押します。

●デモ表示の設定

時刻モードの「セット中（表示点滅）以外」のとき、Ⓑボタンと Ⓓ ボタンを同時に約２秒間押し続けます。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

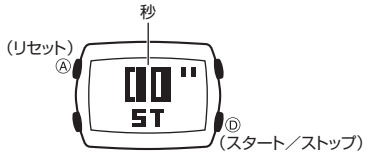
ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。
※計測中、計測時間が１分未満のときは「秒」のみを表示します。計測時間が１分以上になると「分」と「秒」を表示します。
※計測をストップすると、「1/100秒の計測値」を表示します。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測終了後 Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　ストップ　リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

時刻モードの「時刻表現」について

本機の時刻モードには、いくつかの時刻表現があり、用途にあわせて選ぶことができます。

《12時間制（12～11）》
正子（午前零時）を起点にして12時間制で表現します。正子（午前零時）を「12」で、正午（昼の12時）を「PM12」で表わします。

《24時間制（0～23）》
正子（午前零時）を起点にして24時間制で表現します。正子（午前零時）を「0」で、午後11時を「23」で表わします。

《30時間制（6～29）》
午前６時を起点にして30時間制で表現します。午前６時を「6」で、正子（午前零時）を「24」で、午前５時を「29」で表わします。
なお、日付は、午前６時に切り替わります。

《12時間制（0～11）》
正子（午前零時）を起点にして12時間制で表現します。正子（午前零時）を「0」で、正午（昼の12時）を「PM0」で表わします。

●時刻表現を選ぶ

1. 時刻モードにする

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸボタンを押し、時刻モードにします



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます



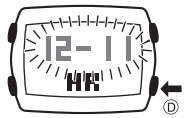
➡ 秒が点滅します。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
※ この操作を行なうと、「表示パターン」が切り替わってしまう場合があります。
操作終了後に、Ⓐ ボタンを押して使用する「表示パターン」に切り替えてください。

3. 「時刻表現」を選ぶ

Ⓒ ボタンを３回押します



Ⓓ ボタンを押して、「時刻表現」を選びます



➡ Ⓓボタンを押すごとに「時刻表現」が切り替わります。
12-11：12時間制（12～11／PM12～PM11）
0-23　：24時間制（0～23）
6-29　：30時間制（6～29）
0-11　：12時間制（0～11／PM0～PM11）

4. セット状態を解除する

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まります。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは１分単位で60分までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。
また、電子音に合わせて表示照明用ライトやLEDライトが点滅します。
※計測中、タイマー時間が１分以上のときは「分」と「秒」を表示します。タイマー時間が１分を切ったときは「秒」のみを表示します。

■ タイマー時間のセット

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを押します



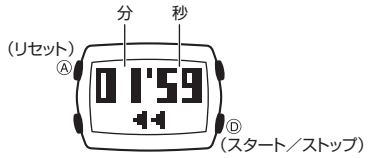
➡Ⓐ ボタンを押すごとに１分ずつ進みます。
※ⒶボタンⒶは、押し続けると早送りします。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※計測は１秒単位で行ないます。



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★計測を、一時、中断したいときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度Ⓓボタンを押してください。そのとき表示されている表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。
また、電子音に合わせて表示照明用ライトやLEDライトが点滅します。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

アラームの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

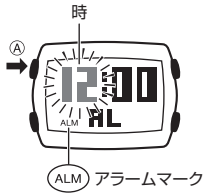
設定した時刻になると10秒間の電子音が鳴ります。
また、電子音に合わせて表示照明用ライトやLEDライトが点滅します。

■ アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき

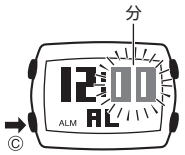
Ⓐボタンを約1秒間押し続けます



➡「時」が点滅します。
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. セット箇所を選ぶ

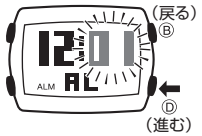
Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順*2.*～*3.*の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時刻表現」は、時刻モードでの「時刻表現」（「時刻モードの時刻表現について」参照）と同じ設定になります。「午前」と「午後（PM点灯）」、「午前５時」と「29時」などの表現にご注意ください。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

■ アラームのON／OFF設定

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに、アラームのON／OFFが切り替わります。
※ アラームをONに設定すると、アラームが鳴るように設定され、アラームマークが点灯します。
なお、アラームマークは、OFFに設定するまで、他のモードに切り替えても点灯したままになり、アラームが鳴る設定になっていることを教えてくれます。

<アラーム1表示>



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

■ アラーム音（電子音）を試聴する

アラームモードのセット中（表示点滅）以外の状態でⒹボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

CASIO

時刻・カレンダーの合わせ方

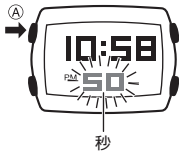
以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます



➡「秒」が点滅します。

※ セット状態で2〜3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

※ この操作を行なうと、「表示パターン」が切り替わってしまう場合があります。
操作終了後に、Ⓐ ボタンを押して使用する「表示パターン」に切り替えてください。

2. **時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します**



➡「00 秒」からスタートします。

※ 秒が00〜29のときは切り捨てられ、30〜59のときは 1 分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

3. セットを終わる

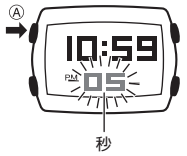
Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

■「時刻・カレンダー」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます



➡「秒」が点滅します。

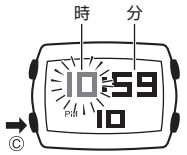
※ セット状態で2〜3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

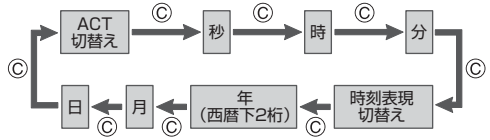
※ この操作を行なうと、「表示パターン」が切り替わってしまう場合があります。
操作終了後に、Ⓐ ボタンを押して使用する「表示パターン」に切り替えてください。

2. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ ボタンを押します**

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

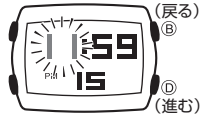




※「時刻表現切替え」については、「時刻モードの時刻表現について」をご覧ください。

※「ACT 切替え」については、「本機の視覚的な演出について」をご覧ください。

b. **Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します**



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※「時刻表現」は、時刻モードでの「時刻表現」（「時刻モードの時刻表現について」参照）と同じ設定になります。「午前」と「午後（PM 点灯）」、「午前 5 時」と「29 時」などの表現にご注意ください。

※「年」は2000〜2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

a.〜b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

デュアルタイムの合わせ方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムには、現在時刻とは別の時刻（海外旅行先の時刻など）をセットできます。

※デュアルタイムの「秒（表示はされません）」は、時刻モードの時刻の「秒」に連動しています。

※デュアルタイムの「時」および「分」は、時刻モードの時刻には連動していません。
時刻モードの時刻を修正した場合は、必要に応じてデュアルタイムの時刻を修正してください。

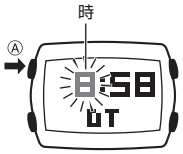
※デュアルタイムの「時刻表現」は、時刻モードでの「時刻表現（「時刻モードの時刻表現について」参照）」と同じ設定になります。

■デュアルタイムの合わせ方

1. セット状態にする

デュアルタイムモードのとき

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

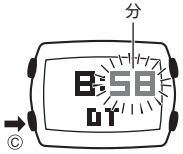


➡「時」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. セット箇所を選ぶ

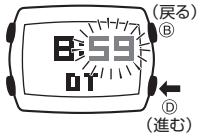
Ⓒ ボタンを押します



➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順 2.～3. の操作を繰り返して、デュアルタイムをセットします。

※「時刻表現」は、時刻モードでの「時刻表現」（「時刻モードの時刻表現について」参照）と同じ設定になります。「午前」と「午後（PM 点灯）」、「午前5時」と「29時」などの表現にご注意ください。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。